

# 日本の食料と農業を守る運動を

## 県南農民組合が所属する農民連とは

私たちは「安全で安定した食料は日本の大地から」をスローガンに日本農業を守るために活動している全国組織です。全国各地に組織があり、茨城県には茨城県にある茨城県連合会を中心に各所6か所に農民センターがあります。私たちの県南農民組合は、茨城県南地域7市3町1村(つくば市、牛久市、守谷市、取手市、竜ヶ崎市、つくばみらい市、稲敷市、阿見町、利根町、河内町、美浦村)にまたがる、600名余りの農民の組合です。



## TPPは、農業もくらしも壊す

### 国民各層と連帯して、参加を阻止しよう

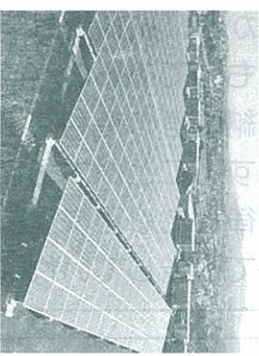
TPP (環太平洋連携協定) は、外国企業がもうけやすいルールに変えてしまおうというものです。農業・食料・医療・雇用など、くらしがあらゆる面でこわされてしまします。国会決議に反して、重要品目の関税も聖域とせず秘密交渉を続けています。こんなことを許してはいけません。



## 原発をなくし、自然エネルギーへ

### いのち育む農業と調和する未来へ

原発事故で、茨城の農業も大きな損害がありました。原発と農業は相容れないものです。現在稼働している原発は国内でひとつもありません。電気は足りています。原発再稼働をゆるさず、再生可能エネルギーへの転換をすすみましょう。農民連では、地域主体、市民主体の太陽光発電などにとりこんでいます。農業と太陽光発電を両立するソーラー・シェアリングに注目が集まっています。自然エネルギーの活用で、農村経済を活性化させ、地域を元気にしましょう。



## 原発損害賠償請求は、今のうちに

### 茨城農民連で、約10億円の実績

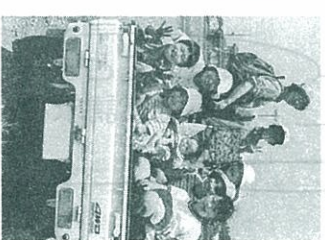
価格暴落や風評被害の責任が原発事故にあることは東京電力も認めており、被害を受けた農家は東京電力へ損害を請求することが出来ます。しかし昨年6月からは個人での請求となり多くの農家は請求していないのが実態です。平成23年3月以降茨城農民連として賠償請求を行って約10億円の賠償金が支払われています。「売上が激減し支払いをどうしようと悩んでいたが、損害額が賠償されて資材代の支払いができた。」と多くの農家から喜ばれています。



## 大いにものを作り、多様な販路を

### 安心・安全、信頼を大切に

農業を守るためには、農政を変えることも大切ですが、生産を維持・発展させることも現場の大事な取り組みです。農民連では、栽培技術を学び合いながら、女性団体や生協との産直や直売所、お米屋さんとの取引など、多様な産直をすすめています。



## 農業労災保険に入りませんか？

### 万が一のときのために

作業中の事故が年々増えています。労働者は、勤務中だけでなく、通勤途中の災害(ケガ・病気・障害・死亡)に対しても労災保険が適用されます。ところが農家は、民間や農協の生命保険の支給を受けるのが精一杯。「農家にも労災保険を」という運動の中から『農業従事者の労災特別加入制度(農業労災保険)』が確立されました。医療費の全額給付、休業補償も受給でき、多くの農家に喜ばれています。



-安全で安定した食料は日本の大地から-

県南農民組合

取手市新川1297 tel0297-70-3503

Mail: kennan-net@vanilla.ocn.ne.jp  
ホームページ http://ibaraki-kennan.net  
ブログ http://blog.goo.ne.jp/ibaraki-kennan

